



この大会は、スポーツ振興基金助成を受けて実施しています

# 天皇賜盃 第79回日本学生陸上競技対校選手権大会

## 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合
2. 運営協力 関東学生陸上競技連盟、社団法人東京陸上競技協会
3. 協 賛 ミズノ株式会社
4. 協 力 シチズン時計株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、大塚製薬株式会社
5. 期 日 平成22年9月10日(金)～12日(日)
6. 場 所 国立競技場(ハンマー投予選：日本大学陸上競技場)
7. 競技種目 男子22種目  
 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 110mH 400mH 3000mSC  
 4×100mR 4×400mR 10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投  
 ハンマー投 やり投 十種競技  
 女子21種目  
 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 100mH 400mH 4×100mR  
 4×400mR 10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投  
 やり投 七種競技
8. 参加資格 1) 平成22年度(社)日本学生陸上競技連合登録競技者。  
 2) ①平成21年1月1日から平成22年8月22日までに標準記録(別紙参照)に達した者は、下図の例に従い各種目1大学につき3名まで参加できる。  
 【参加人数と標準記録突破者の組み合わせ】
 

参加人数	組み合わせ	
1名	B	A
2名	B A	A A
3名	B A A	A A A

  
 ②B標準突破者(特別枠)について  
 平成22年度地区IC及び北日本IC・西日本ICの優勝者はB標準突破者とみなす。  
 但し、各種目同一大学に地区IC優勝者、北日本IC・西日本IC優勝者、B標準記録に達した者がいた場合は、いずれか1名の参加とする。  
 ③リレーは平成22年度登録競技者の編成によるチームの記録でなければならない。  
 3) リレー種目は1大学につき1チームのみの参加とし、6名連記とする。  
 4) 個人の参加種目数の制限はない。
9. 申込料 参加者1種目1名につき2500円、リレーは1チーム4000円とする。
10. 申込期日 平成22年 月 日( ) (地区学連締切日)
11. 申込方法 1) 参加大学は配布された出場申込書に必要事項を記入し、申込期日までに地区学連へ提出すること。  
 (FAX・電話等による申し込みは一切受け付けない。)  
 2) 申込料は申し込みと同時に納入し、受領書は地区学連が発行する。  
 3) 地区学連は参加大学の書類を取りまとめた上、平成22年8月25日(水)正午までに(社)日本学生陸上競技連合に申し込むこと。
12. 得点方法 各種目とも1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、

7位-2点、8位-1点とする。

13. 式典 開会式：9月10日（金） 時 分

栄章贈与式：9月12日（日）12時30分（予定）

閉会式：9月12日（日）競技終了後

14. 表彰 男子総合優勝大学には天皇賜盃、女子総合優勝大学には秩父宮妃杯を贈与する。その他、男・女各優勝大学には下記の賞を贈与する。

【男子の部】総合優勝大学：日本陸上競技連盟優勝旗

トラック優勝大学：朝日新聞社 楯

フィールド優勝大学：毎日新聞社 楯

混成優勝大学：日本学生陸上競技連合杯

多種目優勝大学：読売新聞社 楯

【女子の部】総合優勝大学：日本学生陸上競技連合会長杯

トラック優勝大学：日本学生陸上競技連合杯

フィールド優勝大学：日本学生陸上競技連合杯

混成優勝大学：日本学生陸上競技連合杯

多種目優勝大学：読売新聞社 楯

15. 監督・代表者会議 平成22年9月9日（木）15時00分より国立競技場大会議室にて行う。その際、プログラム、ナンバーカード、他関係書類を交付し、注意事項の伝達、プログラム訂正を行う。指導責任者は必ず出席のこと。尚、この会議において不出場を申し出た場合は不出場届けを提出する必要はない。

16. 注意事項
- 1) 競技は平成22年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合せ事項により実施する。
  - 2) 監督・代表者会議以降、やむなく競技に出場できない場合は不出場届を提出すること。
  - 3) 競技に使用する器具は主催者側が用意したものを使用しなければならない。但し、棒高跳用ポール、やりは個人所有のものが使用できる。尚、やりは検定を受け、許可されたものでなければ使用することはできない。
  - 4) 計時はトラック競技全種目電気計時で行う。
  - 5) スタートは本年度の修正規定により実施（平成22年度日本陸上競技連盟競技規則 第162条参照）する。
  - 6) 5000m、10000m、10000mWにおいては天候に応じて給水を行う場合がある。
  - 7) 練習は東京体育館の陸上競技場を使用することができる。（予定）
  - 8) ドーピングコントロールテストはJADA及びJAAFの規則に従い実施する。ドーピングテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けなければならない。
  - 9) 競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は一切負わない。
  - 10) 参加大学は開・閉会式の際、部旗を1本用意すること。尚、男・女総合優勝大学は校歌を演奏し部旗を掲揚するので準備しておくこと。

17. その他
- 1) 本大会は、「日本インカレ」を正式略称とする。
  - 2) 参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。
  - 3) 宿泊についてはトップツアー（株）が斡旋する。希望者は別紙宿泊要項を参照のこと（所属学連に問い合わせのこと）。
  - 4) ポールの搬送について  
ポールは主催者側の案内に従って下記の住所に送付すること（別紙：送付案内参照）。  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町10-2 国立競技場 事業課気付  
(社) 日本学生陸上競技連合 宛 TEL：03-5304-5542